

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：農林水産業費 項：農業費 目：農業振興費

事業名 飛騨牛輸出促進緊急支援事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 農産物流通課 輸出戦略係 電話番号：058-272-1111 (内 2896)

E-mail：c11444@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 9,000 千円 (前年度予算額：0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	9,000	0	0	0	0	0	0	0	9,000
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、飛騨牛の輸出量は昨年度比で半減*している。

飛騨牛については、これまで積極的に海外展開を進め、高級ブランドとしての国内外での評価を高めてきたことから、コロナ社会における食市場の変化に一早く対応し、飛騨牛輸出のV字回復を図る必要がある。

※飛騨牛輸出量：▲46% 21,975kg(R元.4-8月) → 11,806kg(R2.4-8月)

(2) 事業内容

外食店舗の営業規制や家庭食へのシフトなどによりニーズの高まる小ロット販売を加速的に進めるため、輸出向け飛騨牛の加工(オーダーカット)費用について、掛かり増し分を県が補助する。

[対象者] 飛騨牛の輸出に取り組む食肉販売事業者

[交付額] 定額 1頭あたり50千円

[期 間] 6ヶ月間 (R3.4~R3.9)

(3) 県負担・補助率の考え方

飛騨ミート農業協同組合連合会が定める加工料（掛かり増し分）※を、食肉販売事業者の代わりに負担する。

※ 100 円/kg × 500kg/頭 J A 飛騨ミート聞き取り

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	9,000	輸出向け処理見込 30 頭/月 × 1 頭あたり 50 千円 × 6 ヶ月間
合計	9,000	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・「清流の国ぎふ」創生総合戦略（H31 年 3 月策定）
3（1）④ 「ぎふブランド」づくり
- ・新たな「ぎふ農業・農村基本計画」（R3 年 3 月策定）
（3）ぎふ農畜水産物のブランド展開 ①輸出拡大の強化

(2) 国・他県の状況

国においては、農林水産物・食品の輸出額 5 兆円を目指すとした「食料・農業・農村基本計画」（R2 年 3 月）を策定する等、国全体での輸出促進への取組をさらに加速している。

(3) 後年度の財政負担

事業終了時（R3 年 9 月）を目途に、本年度の事業効果及び新型コロナの世界的な収束状況等を見極め、後年度の財政負担を検討する。

(4) 事業主体及びその妥当性

飛騨牛輸出の V 字回復を図るため、飛騨牛の輸出に取り組む食肉販売事業者を対象とする。

県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

補助事業名	飛騨牛輸出促進緊急支援事業費補助金
補助事業者（団体）	飛騨牛の輸出に取り組む食肉販売事業者
補助事業の概要	<p>（目的）新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、飛騨牛の輸出量が大きく減少している中で、飛騨牛の輸出に取り組む食肉販売事業者へ支援を行い、飛騨牛輸出のV字回復を図る。</p> <p>（内容）特定期間（6か月間）において、小ロットでの差別化販売を推進するため、輸出向け飛騨牛の加工（オーダーカット）費用について、掛かり増し分を県が補助する。</p>
補助率・補助単価等	<p>定額・定率・その他（例：人件費相当額）</p> <p>（ 1頭当たり最大50千円 ）</p>
補助効果	飛騨牛ブランドの維持及び輸出量のV字回復
終期の設定	<p>終期R3年度</p> <p>（理由）新型コロナウイルス感染拡大により、飛騨牛の輸出量が低下している現状に対する緊急対策のため。</p>

（事業目標）

・終期までに何をどのような状態にしたいのか

新型コロナウイルス感染拡大により低下した飛騨牛の輸出量をV字回復させ、飛騨牛ブランドを維持する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R2年度末)	目標 (R3年度末)	目標 (終期)
① 飛騨牛の年間輸出量（t）	51.7	/	65.0

	R3年度 (要求)				
補助金交付実績	(要求額) 9,000千円				
指標①目標	65.0				
指標①実績	(推計値) 65.0				
指標①達成率	(推計値) 100%				

(前年度の成果)

--

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 飛騨牛の輸出量をV字回復させ、本県を代表する飛騨牛ブランドを維持していかなければならない。</p>

(事業の評価)

・ 事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い	
(評価) ○	新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、飛騨牛の輸出量が大きく減少していること中で、飛騨牛ブランドを守る輸出回復支援策は必要が高い。
・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない	
(評価)	
・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある	
(評価)	

(事業の見直し検討)

--

(終期到来時の翌年度以降の事業方針)

<p>継続・削減・統合・廃止 (理由)</p>
